



2020. 1. 1

## 1月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園  
神戸 YMCA ちとせ幼稚園

新年おめでとうございます。

1月の聖句は詩編から「新しい歌を主に向かって歌え。」が選ばれています。新年らしい聖句ですが、「新作の歌」を歌いなさい、という意味ではなく、信仰によって新しくされて主を賛美しなさい、という意味だそうです。神さまはいつも、いつまでも変わりません。私たちは、イエス・キリストに導かれた信仰により日々新しくされます。それを表している聖句と言えそうです。

さて、今年は幼稚園にとって新しい時代の入口になるのかもしれませんが。

文部科学省の専門官から「幼稚園・認定こども園を取り巻く社会環境とこれからの保育」と題したお話を伺う機会があったのですが、「少子化・無償化は幼稚園・認定こども園に、各施設の教育や総合的なサービスの質だけが競争要素となる時代をもたらす」と述べられ、また「現在ある職業の47%は今後20年の間に消滅（自動化）する」（英国オックスフォード大学マイケル・A・オズボーン准教授）、「65%の子どもは未知の（今は無い）職業に就く」（米国デューク大学キャシー・デヴィッドソン氏）という、2つの予測も紹介されていました。

因みに後者のキャシー・デヴィッドソン氏の研究は、発表された2011年当時に小学校へ入学した子どもについての研究です。その「子ども」は今年で15歳になりますから、早ければあと3年でその時代が来るのかもしれませんが。もう目の前です。

そして、専門官は更に「教育の目的は『既に在る知識を多く記憶する』ことから『未知のものに自ら意欲を持って取り組む力を育む』ことへ転換される必要があり、『生涯まで良い影響を及ぼす幼児教育とは何か』を探求せねばならない」と仰っていました。

神戸 YMCA は、幼稚園を始めた40年以上も昔から、こどもの興味や意欲を大切に自発性を育み、創意工夫しながら物事に取り組む集中力と態度を養い、仲間と協力する力を身につけることで、人間形成の「根っこ」をしっかりと育ててきました。改定された学習指導要領はそのような力を「非認知能力」として重要視しており、専門官のお話もその趣旨に沿ったものでしたから、これから、私たちと同じような目標を掲げる施設が増えてくるのかもしれませんが。

「誰に、何をもって選ばれる幼稚園であろうとするのか」変わらない命題に、また新たな思いで取り組みたいと思います。

### 年主題 『ことばに満たされて ～ひびきあう～』

<年主題聖句> 「その人は流れのほとりに植えられた木」（詩編1編3節）

### 1月主題 『なかまと ひびきあって』

<聖句> 「新しい歌を主に向かって歌え。」（詩編96篇1節）